



福岡ハビタット研究会 Fukuoka HABITAT Kenkyukai

〒810-0073 福岡市中央区天神 1-1-1 アクロス福岡 8F 国連ハビタット内 TEL:092-724-7121 FAX:092-724-7124

Acros Fukuoka Building, 8Floor 1-1-1 Tenjin, Chuoku, Fukuoka 810-0001, Japan C/o UN-HABITAT Fukuoka Office TEL:092-724-7121 Fax:092-724-7124

ネパール大地震に関する支援経過報告 (2015年6月)

1. ネパール緊急支援 その1

ネパール被災地からの強い要望によって、平成26年度「いのちの水プロジェクト募金」「ハビタットカレンダー募金」に寄せられた募金から送金した200万円相当により、国連ハビタットネパール事務所は直ちに現地において「水と衛生」に資するビニールシートや飲料水バケツ等の緊急物資を調達し、複数の地元NGOとも連携して被災コミュニティに配布する他、自治体の水と衛生関連部署の要請に応じた資材調達も行っております。

地元NGOは被災地のニーズを聞き取り、国連ハビタットと連携して緊急支援に携わっています。ハビタットの建築家や職員の家族も中心メンバーとして参加しています。

国連ハビタットネパール事務所職員、地元NGOボランティア一同、日本の皆様からの迅速な対応により、現地での被災者支援が可能となったことを心から感謝しております。



被災地カトマンズの様子



飲料水バケツの配布(左)と
水と衛生地区事務所の要請により
調達したパイプ等資材(上)



コミュニティに配布される雨避けビニールシート



地元NGOと連携して物資を配布、
シートを利用してテントを張る

2. ネパール緊急支援 その2

緊急支援の第2弾として、国連ハビタット職員がネパールへ出張する際、平成26年度募金で調達した緊急用浄水装置「救水箱R」（協和機電福岡支社のリュック型簡易浄水器）を現地に持参しました。1個のフィルターで5トンの水を浄水し、且つリュックで持ち運びができるこのツールの説明を受け、ネパール事務所は急勾配に位置する丘陵被災コミュニティへの支援に早速役立てることを決めました。



3. 「いのちの水」プロジェクト

平成25年度に実施した特別企画「ネパールの水を守れ！」のテーマのもと「いのちの水プロジェクト募金」「ハビタットカレンダー募金」を通じて寄せられた浄財で国連ハビタットが実施する「いのちの水プロジェクト」（2.7万米ドル）においては、福岡の環境技術を活用した貯水池および公共施設での浄化槽の改善等を行います。

現在、大地震後の緊急対応として、カトマンズ渓谷内3自治体の被災コミュニティで、水の滅菌と仮設トイレ周辺の土壌汚染や雨季のコレラなどの発生予防のため、細菌製剤「アクアリフト」や殺菌剤（福岡市のアクアサービス株式会社が有する環境技術）を住民たちに配布し、国連ハビタット職員が使用法の説明を行っています。（写真参照）これまでに計6つの被災コミュニティで「アクアリフト」を1,200世帯、殺菌剤を700世帯に配布完了しました。

大地震の影響により、現地では水道等のインフラが使用できない状況となる中、住民たちが頼ることとなる水源の水質改善や衛生関連事業は大変重要な意味があり、この緊急事態に対応した柔軟な支援を行います。



細菌製剤



殺菌剤



使用法を住民に説明